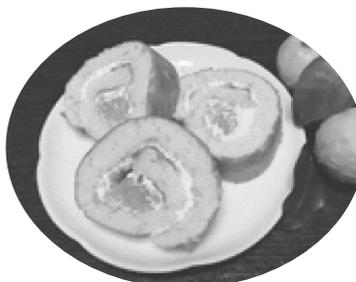


なごむ 和



大泉きりえサークル
山本文子



サークル紹介：14 お菓子同好会

はなみずき通り

お菓子同好会

お菓子同好会は、町公民館主催の「お菓子作り講座」修了者が中心となり始まりました。講座の講師だった高倉圭子先生指導のもと、30年続いています。

活動は月に1回、第4木曜日の午前9時30分〜午後0時30分に町公民館でお菓子作りをしています。ケーキやクッキーなど定番のものから、今はやりのかわいいものなど、毎回さまざまなお菓子を作っています。少し難しいものでも大丈夫！先生の説明やアドバイスで、ステキなお菓子に仕上がります。

出上がったお菓子は家に持ち帰り、家族と一緒にいただきます。毎回違うお菓子を持ち帰るので、「今日は何のお菓子？」と子どもたちも楽しみにしています。

2月には公利連のサークルフェスティバルに参加し、みんなで作ったお菓子を販売しています。ありがたいことに好評で「毎年楽しみにしているのよ」「おいしかったわ」など声をかけていただきます。私たちもお客さんと接して皆さんの声を聞くことができる楽しい時間です。

お菓子同好会では、ただいま会員を募集しています。興味がある方、公民館まで見学にいらしてください。



あなたの故郷（ふるさと）はどこですか？

日本全国ふるさと発見!!

栃木県大田原市黒羽

② 《完》

◆ふるさとの心に残る風景

八溝山の麓には、吉永小百合さんがCMで紹介していた「雲巖寺」があります。禅宗の日本4大道場と呼ばれたほどの立派なお寺です。山門の正面には朱塗りの反り橋があり、春の新緑・秋の紅葉・冬の雪景色はそれは見事な景観です。小学生の思い出は、昭和天皇・皇后様が植物採取で雲巖寺に立ち寄りられた時、沿道に並んで日の丸の旗を振ったことを思い出します。



雲巖寺

夏になると、那珂川での水遊びです。昔は学校にプールなど無かった時代で、毎日のように友達を誘い那珂川で水遊びをしていました。そして毎日のよう

に入道雲が発生し、雷雨でどしゃ降りの中逃げ帰っていきました。

◆師を偲んだ歌

松尾芭蕉は「奥の細道」の旅の途中、黒羽の豊かな文化と情緒あふれる景観に強く影響を受け、この地で数多くの句を詠みました。

その中の1つは、雲巖寺を訪れた際に詠まれたものです。雲巖寺は、芭蕉が禅の教えを受けた、師であり友人だった仏頂和尚が修行をした場所です。寺の奥には和尚の山居跡があるようです。芭蕉は当時、旅の道中です。ついても立ち寄りたかったよう

で、和尚のことを偲んで句を詠みました。
木啄も 庵は破らず 夏木立
「和尚の徳の前に、さすがのきつつきも敬意を払って和尚の庵に穴を開けるようなことはないようです」というユーモラスな視点からの句になります。

◆大泉町の好きなところ

大泉町に来て40年たちますが、気候的にも故郷とあまり変わらず、災害も少なく、また関東の中心地点で各地の観光地にも行きやすくとも住みやすい町です。今は新型「コロナ」の影響で県外移動がなかなかできませんが、落ち着いたら先月号で紹介した「芭蕉の道」を散歩してみるのも、心身のリフレッシュにぴったりではないでしょうか？

◆方言

八溝山脈を挟む茨城県と栃木県では、同じように語尾が尻上がりの傾向があります。また、那須地方だけかもしれませんが、風に乗って降ってくる雪を「ふっかけ」と言っていました。こちらに来て、「風花」と聴いて、綺麗な言葉に感心しました。

(M.S)

大田原市黒羽の観光・レジャースポット!!

- 黒羽城址公園
- 黒羽芭蕉の館
- 芭蕉の道
- 芭蕉の広場
- 玉藻稻荷神社
- 黒羽観光やな

参考：大田原市ホームページ



私の好きなこと



西小3年
あらきりあな

私の好きなことは、絵をかくことです。

なぜなら、絵をかくと、とても楽しいきもちになるからです。絵をかくときは、

友だちやぞくの絵をかいていきます。



絵をかいたら、友だちやぞくにプレゼントすることもあります。プレゼントをして、よろこんでくれると、私もうれしいきもちになります。私は絵をかくことは、ほいくえんのころから大好きでした。

学校や児童館でも、友だちと絵をかいてあそんでいます。

これからもたくさん絵をかいてプレゼントして、友だちやぞくによろこんでほしいと思います。

すよとい話

昨年(11月24日(火))、コーラススピーはミニミニコンサートを開きました。演奏会の自費を余儀なくされている先生と私たちの練習の成果を聴いていただく、という試みです。

山崎先生のしっとりとした日本歌曲の独唱から始まり、団員の独唱やピアノの連弾など、演奏曲もバラエティに富んだ曲が続き、楽しいひとときでした。最後に私たちも必死で暗譜した3曲を披露しました。久しぶりにステージで歌い、みんなの高揚感がひとつになって、まずまずの演奏だったようです。



(先生談)
コロナ感染の嚴重警戒の中、十二分に気を配ったうえでの短いコンサートでした。観客のみなさんも感動されたようで、ホッとしました。

♪うたはあなたの大切な友だち
いつもそばにいる

大切な友だちだから♪
合唱曲「ほらね」より。これからも歌い続けます。ありがとうございました。(K・H)

土と向き合う陶芸“匠”入門 ～ランプシェードを作ってみよう～

ランプシェードとは、ランプや電灯の笠のこと。インテリアのアクセントにもなるアイテムで、最近は色々な素材を使って手作りを楽しむ人が増えてきています。



本講座では“世界に一つ”の自分だけのインテリアを作りながら陶芸の技法を学びます。

- 日 時：令和3年2月20日(土) 午前10時～午後1時
- 内 容：粘土からのボディ作り(口ク口は使用しません)と焼き上がりの色選び。
(焼形は講師のみなさんが行ってくれます)
- 講 師：大泉町公民館陶芸協議会のみなさん
- 定 員：10人(先着順。どなたでも参加できます)
- 参加費：500円(材料費として)
- 持ち物：筆記用具、木綿の手ぬぐい2枚(汚れてもいいもの)
- 申込方法：1月16日(土)の午前9時から受付開始します。
町公民館へ参加費を添えて直接お申込みください。

※2月12日(金)以降のキャンセルはできません。返金も対応できません。
※お問合せは 大泉町公民館 ☎62-2330へ

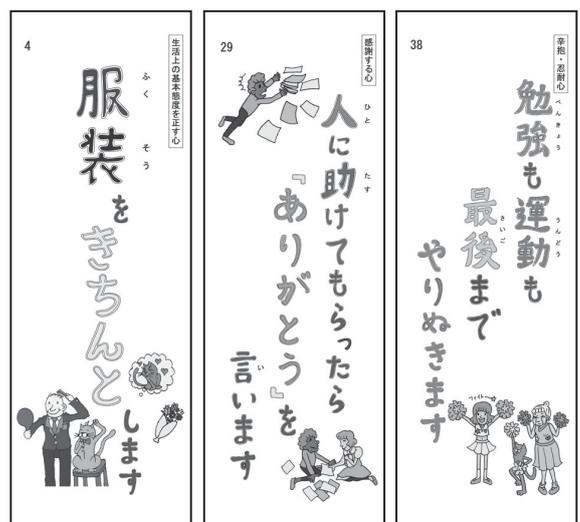
新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください

- ◎当日の検温、マスクやフェイスガード等の着用
- ◎講座前後・講座中の手洗い、消毒
- ◎当日、発熱等の症状が出た場合は公民館にご連絡をください。
(参加を見送らせていただきます。)
- ◎感染拡大の状況に応じ、中止になる場合があります。あらかじめご了承ください。

心を育てる大泉町ルールブック

「クレド君といっしょに」

- 大泉町教育委員会でまとめた、生活していく中で守った方がよい44のルールから、
- 今月号でも一部を紹介します！



どうして守った方がよいのか、大切な人と話し合ってみるのはいかがでしょうか？
他のルールは、こちらのQRコードから町ホームページでもご覧いただけます！



～スパイスを使って
家庭でもできる～

大人のインド料理教室

様々なスパイスを活用して家庭でできるインド料理を作ります。
ご自宅でも再現できるので、インド料理を学んでみませんか？

日時：令和3年2月5日(金) 午後6時30分～午後8時30分

会場：大泉町公民館 1階 実習室

内容：南インドの料理を体験。

インドカレー2種類、お楽しみスパイス料理を作ります。

講師：クンドーリ ビジエイクマールさん《イエロー・ムング》

定員：12人(先着順。どなたでも参加できます)

参加費：800円(材料費として)

持ち物：筆記用具、エプロン、スリッパ、

持ち帰り用のタッパー(大きめ4個)

申込方法：1月16日(土)の午前9時から受付開始します。

町公民館へ参加費を添えて直接お申込みください。

※2月3日(水)以降のキャンセルはできません。返金も対応できません。

※お問合せは 大泉町公民館 ☎62-2330へ



※写真はイメージです

新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください

- ◎当日の検温、マスクやフェイスガード等の着用
- ◎講座前後・講座中の手洗い、消毒
- ◎当日、発熱等の症状が出た場合は公民館にご連絡をください。(参加を見送らせていただきます。)
- ◎感染拡大の状況に応じ、中止になる場合があります。あらかじめご了承ください。

年頭 雑感



昨年はコロナの不安が消えず、何ともさえない一年であった。そんな中で唯一ときめいたのは「愛の不時着」(韓国ドラマ)であった。それが新語・流行語大賞トップテンの2位になったのも意外であった。コロナ禍ゆえの結果であるが、私の路線は今年も変わらない。何はともあれ一日も早い終息を願わずにいられない。

(和)

白・灰・黒・桃・青、色どりのマスクは歩き回り、自転車や車に乗ってお出かけをする。怒ったり笑ったり時には泣くことさえも。新春を寿ぎながら大きな欠伸だって出来る。目は口ほどにものを言うが、マスクは全てを半分隠す。

(好)

昨年は多くの行事が中止になってしまい、寂しい一年であった。今年は一日も早く従来のような生活に戻って欲しいと願うばかりである。地域の行事に参加して、終わったなら慰労会で盛り上がり、気兼ねなく友と語り、お酒を酌み交わす日常が欲しい。

(卓)

二十数年前になるだろうか、私はバラに魅せられて、我が家の庭造りをバラ中心に少しずつ変えていった。バラ選びには病気に強い品種、育てやすさと香り求めた。つるバラの成長は、バラ栽培の面白さを教えてくれた。さて、今年は何んな年になるだろう?ではなく「どんな年にしたいのか?」今、しばらく足を止め、歩き出す力を蓄えよう。

(艶)

集まりや食事が無くなった。夕飯は夫の料理がほとんど。ありがたいやら材料費がますますかかるやら。新しい生活様式に慣れつつある昨今だが、早く元に戻りますように。

(政)

昨年は夫と「鬼滅の刃」を観に行った。そのおかげで孫たちと大いに盛り上がった。ある時は直接、ある時はリモートで。今年は何んな作品が? 出来れば一緒に鑑賞したい。そして大いに盛り上がりたい!!

(京)

昨年はコロナによって、子どもの休校や外出の自粛など、普段では経験しないようなことがたくさんあった。

あたりまえの毎日の生活がどんなに大切なものなのか、そして幸せとは何かと気づいた。

息子は春から中学生になる。家族全員が大病をせず、平穩に暮らせるよう願う。

(浩)

今年も、五年生まれだった父と幾度も初詣や健康運・学業成就等の祈願に訪れていた天満宮へ、思い出を巡りながらお参りしたい。(感染予防対策をして)五年生まれの銘「常に努力を惜しまず、着実に目標を達成する」にあやかり、良い年になることを願う。

(ひ)

「目前の安泰は一時しのぎと知れ。百年の時は一瞬にすぎない。君たちは、どうかいたずらに時を過ごすことのないように」と、かの吉田松陰先生は仰ったそうである。毎年年頭に当たり比較的柔らかい誓いを立てる。でも、何故か誓いを立てても実践は三日坊主である。松陰先生が言う一瞬の百年分の毎年三日坊主を決め込むのなら、合計で三百日になる。それはそれで立派だと思いが、今年こそ大真面目に先輩方と仕事しようと心に誓う。今年こそ三日坊主にならないように。よろしくお願ひ致します。

(章)

本年も「和」をよろしくお願ひいたします。
編集委員一同